



平成 22 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 東京都千代田区四番町 2 番地 1 2
東 洋 鋼 鉄 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 田中 厚夫
(コード番号 5453 東証第 1 部・大証第 1 部)
問合せ先 常務執行役員 総務部長 大谷 憲史
(TEL 03-5211-6200)

グループ中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2010 年度から 2012 年度まで（平成 23 年 3 月期から平成 25 年 3 月期まで）の 3 ヶ年の「グループ中期経営計画」を策定いたしましたので、その概要を次のとおりお知らせします。

当社は昨年創立 75 周年を迎えたのを機に会社・従業員のあるべき姿を示した経営理念を制定しました。本 2010 年度から、100 周年に向け高い目標を掲げ、3 ヶ年の新中期計画『STEP UP 100』を策定し、将来におけるありたい姿と経営理念の実現に向け、経営資源を柔軟に投入し、目標達成に邁進してまいります。

(1) 東洋鋼鉄グループの経営理念

- ①永続的に有益な価値を提供し、地球環境や社会の進歩に貢献します。
- ②すべての社員が豊かな社会生活を営む環境を作ります。
- ③常に新しい技術の可能性を追求し、成長する企業であり続けます。

(2) 計画の基本的考え方

①販売部門の責任の明確化

販売部門の責任と権限を明確にし、具体的な事業計画を実行します。

②間接部門の生産性向上

間接部門は販売部門との連携をより深め、業務改革を推進しコストパフォーマンスの改善を図ります。

③グループ企業との連携、協業強化

東洋製罐グループ会社としてグループシナジーを最大限に発揮できるよう、既存事業の基盤強化、研究開発の効率化、新規事業の創生を図ります。

(3) 事業戦略

既存事業については、開発・提案型組織への転換を図り、継続的に顧客に対して有益な価値を提供し、迅速にニーズに対応可能な体制へ整備してまいります。その上で成長・拡大戦略として新規市場開拓および新規事業創出を図り、次のとおり事業戦略を掲げ具現化致します。

① 鋼板関連事業

- ◇ 環境関連、エネルギー分野への事業領域拡大
- ◇ 中国販売子会社を中心とした営業・生産拠点の拡大による多面的事業展開
- ◇ 東洋製罐グループ企業との連携による飲料缶の海外市場獲得

② 機能材料関連事業

- ◇ フラットパネルディスプレイ向け光学用フィルムの事業規模拡大
- ◇ 磁気ディスク用基板のモバイル市場参入

③ その他事業

- ◇ 機械事業における顧客ソリューションビジネスの展開

(4) 3カ年損益目標 (連結)

① 計画

(単位：億円)

	実績	計画		
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
売上高	1,065	1,130	1,230	1,280
営業利益	34	55	75	90
経常利益	33	54	74	89
当期純利益	21	30	45	55
売上高営業利益率	3%	5%	6%	7%

② セグメント別数値目標 (連結)

	2012年度目標		
	売上高	営業利益	売上高営業利益率
鋼板関連事業	980	53	5%
機能材料関連事業	215	28	13%
その他事業	85	9	11%
合計	1,280	90	7%

以上

本資料に含まれる将来の計画に関する記載は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び仮定に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により計画と異なる場合があります。